

試験&合格  
ポイント  
徹底解剖!

\ めざせ最短合格 /

合格ガイド & 対策講座のご案内

甲種4類・乙種4類

# 消防設備士

2024



# まずはざっくり。

## 資格 & 試験 を理解しよう!

そもそも消防設備士とはどのような資格でしょうか。  
また受験資格や合格率はどのくらいでしょうか。  
ここでは資格概要や試験についてご紹介いたします。

※記載内容は簡略化していますので、詳細は別途ご確認ください。  
(右の二次元バーコードから当社サイトの資格説明ページをご覧ください)



### Q. 消防設備士とはどんな資格？ 取得するとどんなメリットがあるの？

- ✓ 消防設備の工事・整備・点検に必要な国家資格
- ✓ 法律で定められた業務独占資格
- ✓ 資格は甲種6種類、乙種7種類に分かれており、対応できる業務が異なる
- ✓ 乙種は消防設備の整備と点検、甲種は加えて工事ができる

#### 消防設備士とは？

消防設備士とは、消火器や火災報知器、スプリンクラーなど建物内に設置された消防設備を点検・整備できる国家資格です。法律で定められた方のみ従事可能なため、消防設備士は業務独占資格といえます。

また、建物には消防設備の設置が義務付けられているため、消防設備士が活躍できる場所は非常に多いです。消防設備士は乙種1～7類、甲種1～5類、甲種特類の計13種類にわかれていて、分野ごとに扱える範囲と業務内容は異なります。乙種は消防設備などの整備と点検のみができます。対して甲種は、整備と点検にくわえて工事ができます。

#### 消防設備士の役割や取得するメリット

活躍できる幅が広いのがメリット。一般の居住用住宅を除くほとんどの建築物に、消防設備の定期的な点検とメンテナンスが義務付けられています。しかも業務独占資格といって指定の業務については、消防設備士の資格を取得していなければ携わることができないため、資格が必須。もちろん就職や転職でも役立ちます。

## Q. どんな仕事をするの？

消防設備や防災関連の会社はもちろんですが、工場や倉庫を持つような会社、ビルメンテナンス会社への就職が期待できるでしょう。ほかにも電気設備系会社、不動産会社なども考えられます。業種の幅が広いこともメリットといえます。



## Q. 受験資格は？

乙種はどなたでも受験可能です。甲種は細かく分かれています。ここでは対策講座を用意している消防設備士甲種4類についてご紹介しますが、詳細は試験実施団体にご確認ください。

### 1. 学歴によるもの

大学、短期大学、高等専門学校において機械や電気、建築などの学科や課程を修了したもの等

### 2. 実務経験によるもの

乙種消防設備士の交付を受けて2年以上の実務経験がある  
消防設備士補助の実務経験が5年以上ある  
消防法改正前の実務経験が3年以上ある等

### 3. 既存資格によるもの

電気工事士免状の交付を受けている  
電気主任技術者免状の交付を受けている  
アマチュア無線技士除く無線従事者資格がある  
1級建築士または2級建築士  
ガス主任技術者免状の交付を受けている  
給水装置工事主任技術者免状の交付を受けている等

## Q. 試験のスケジュールは？

消防設備士の試験は一般財団法人消防試験研究センターが都道府県別に実施しています。例年、消防設備士の試験は都道府県ごとに開催時期が異なります。各都道府県の開催日程については試験実施団体にてご確認ください。運営団体ホームページ(右の二次元バーコード)からもご確認ください。

※受験申請書の入手は試験実施団体へ直接取りに行くか、もしくは郵送にて取り寄せてください。  
※受験申請書の提出は試験実施団体へ持参するか、もしくは郵送にてご送付ください。



一般財団法人  
消防試験研究センター  
ホームページ

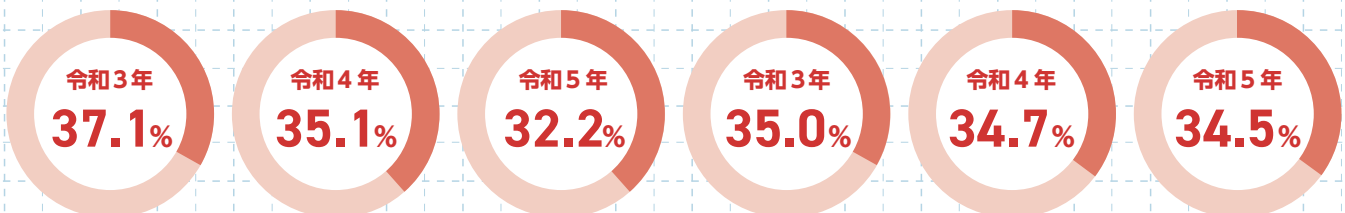
## Q. 試験の合格率はどのくらい？

消防設備士の合格率は過去数年 30% 台を推移。対策をしっかりと立てて学習することが大切です。

過去3回の合格率

消防設備士(甲種4類)

消防設備士(乙種4類)



# 試験内容と試験の特色から考える 合格のポイント

消防設備士甲種4類と乙種4類はともに合格率が平均的に30%台と難易度が高い国家資格。でも大丈夫。試験の特性を理解して対策を考えれば合格の可能性はグッと高まります。ここではより具体的な試験概要を理解して学習のポイントを探ります。

## Point 1

**合格率は甲種4類、乙種4類ともに平均30%台と低い。しっかりした対策が必要**

過去5年の合格率は甲種4類・乙種4類ともに平均30%台。毎年一定の水準で推移しており、仕事と学習を両立して合格するには難易度が高い資格です。



## Point 2

**学習範囲は広い。効率的な学習が重要**

市販のテキストをご覧くださいと、その厚さに少々驚くかもしれません。学習範囲が広いので、出題傾向が高いものから学習するのが効果的です。



## Point 3

**試験はマークシート。合格のためには全体の60%以上、かつ科目毎に40%以上の正答率が必要**

試験に合格するためには全出題数の60%以上の正答率が必要です。ただし筆記試験には足切りの基準も設定されています。甲種4類、乙種4類の筆記は「消防関係法令」「基礎的知識」「消防用設備等の構造・機能・工事・整備（乙種は構造・機能・整備）」の3科目があり、これら3科目それぞれ40%以上正答しなくてはなりません。科目の偏りなく正解することが必要です。

### 過去問題例

【4類】  
【問 11】 下図のような複合用途防火対象物に対する自動火災報知設備の設置義務について、消防法上、正しいものは次のうちどれか。  
なお、地上階は、すべて無窓階に該当する階である。

5階	事務所	200㎡
4階	事務所	200㎡
3階	事務所	200㎡
2階	物品販売店舗	200㎡
1階	飲食店	200㎡
地階	駐車場	200㎡

- 地階の駐車場と1階の飲食店に設置義務がある。
- すべての階に設置義務がある。
- 地階の駐車場と1階の飲食店及び2階の物品販売店舗に設置義務がある。
- この防火対象物には設置義務がない。

甲種4類

【4類】  
【問 11】 自動火災報知設備の警戒区域に関する次の記述のうち、文中の（ ）に当てはまる数値の組合せとして、消防法上、正しいものはどれか。  
「光電式分離型感知器を設置する場合を除き、自動火災報知設備の一の警戒区域の面積は、(ア)㎡以下とし、その一辺の長さは、(イ)㎡以下とすること。ただし、当該防火対象物の主要な出入口からその内部を見通すことができる場合においては、その面積を(ク)㎡以下とすることができる。」

	(ア)	(イ)	(ク)
1	600	50	1,500
2	600	50	1,000
3	800	100	1,500
4	800	100	1,000

乙種4類

# 社会人として忙しい毎日だから “超効率的な学習”が必須！

## Point

この試験の特色は・・・

- ・試験はマークシート方式
- ・全体の60%以上正解すればOK
- ・科目毎の最低ライン(40%)はクリアする

それなら！

- 100点はあえて狙わずに・・・
- 試験に出そうな箇所を
- 各科目万遍なく学習する！

**合格の可能性がUP!**

## CICの対策講座なら！

満点を狙わない。超効率的に合格を狙う。

- 過去の傾向を徹底分析。幅広い試験範囲から重点学習範囲を設定！
- 専用スタジオで収録！
- 人気講師による映像授業！
- ポイントを絞っているから低価格。独学+αの価格！



## 負担にならない受講料

仕事で忙しい社会人はそもそも十分な学習時間を取れません。限られた時間の中で合格するためには、試験の特性を考えて「合格ラインを超えることだけ」に特化した学習が必要であり、CICはそのための講座をご用意しています。ポイントは「過去の出題傾向を徹底分析して要点を絞った」映像講義とカリキュラムにあります。

要点を絞ったことで、受講料も大幅にカット。独学をお考えの方にも大きな負担にならない受講料を実現しました。

＼負担にならない！／

**18,150円～**  
**24,200円**

\*送料・消費税込

# 最短合格のノウハウ満載 CICの講義&サポート

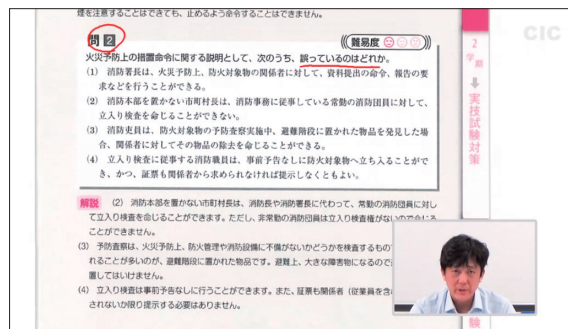
- Point 1 過去の出題傾向を徹底分析したカリキュラム！
- Point 2 受講生に選ばれた人気講師によるわかりやすい講義！
- Point 3 専用スタジオで収録した映像授業！
- Point 4 メール質問OK。サポート充実！

## 過去の出題傾向を分析。 重要範囲を明快解説

CICが過去の消防設備士試験の傾向を徹底分析。出題傾向を把握し、試験合格に重要なポイントを重点的に解説。

## 受講生に選ばれた人気講師による 徹底解説

講師は受講生のアンケートによって選抜。選ばれた講師だからこそわかりやすい講義をお届けできます。

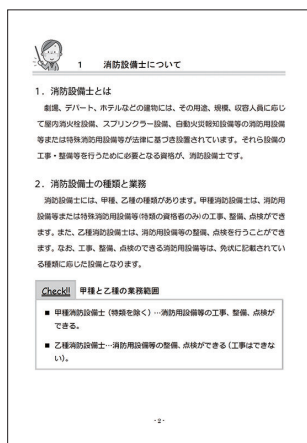


## 専用スタジオで収録

専用スタジオで収録された講義ですので聞きやすく、解説がわかりやすく編集されています。

## 試験の流れや学習方法が1冊に！ 初めての受験でも安心して チャレンジできます。

試験対策を効率的に行い、合格に近づくためには資格試験の概要をよく理解して、その特性に合わせて学習することが大切です。全員に送付される合格ガイドブックは、試験の流れや学習方法を一冊にまとめた資料。全体像がサクッと理解できるので安心して受験にチャレンジできます。



## 映像講座の不安を解消。 メールで質問ができる安心サポート

もし不明点がでてきたらどうしよう。そんなときもお任せください。メールで質問できる安心サポートだから疑問点もしっかり解消。





## 対策講座

### Web講座 DVD講座

いつでもどこでも繰り返し視聴可能。自分のペースで学習できるWeb講座とDVD講座。学習しやすい方式でご選択ください。カリキュラムは両講座とも同一。ご質問へのメール対応がありサポートも万全です。

### カリキュラム

\*標準学習期間：2か月～

	甲種4類	乙種4類
筆記試験対策	関係法令I(共通部分)	関係法令I(共通部分)
	関係法令II(4類関係)	関係法令II(4類関係)
	自動火災報知設備の構造・機能	自動火災報知設備の構造・機能
	自動火災報知設備の設置基準	自動火災報知設備の設置基準
	その他の4類関係設備	その他の4類関係設備
実技試験対策	電気の基礎理論	電気の基礎理論
	鑑別(甲種・乙種)	鑑別(甲種・乙種)
	自動火災報知設備の試験・点検(甲種・乙種)	自動火災報知設備の試験・点検(甲種・乙種)
	製図(甲種)	—

### 受講料(税・送料込)

映像通信講座	Webコース*	DVDコース	収録時間
消防設備士(甲種4類)	21,000円 (税込 23,100円)	22,000円 (税込 24,200円)	約11時間予定
消防設備士(乙種4類)	16,500円 (税込 18,150円)	17,500円 (税込 19,250円)	約7時間予定

\*LMS導入講座：LMS導入により進捗管理が行える講座です。

### 教材・送付物について

商品発送予定：ご入金の確認ができたお客様より順次発送いたします。

Web・DVD講座はすべて同じカリキュラム教材です。お送りする教材は全て最新年度版(2024年版)です。

\*受講料(税・送料込)には、下記教材の代金が含まれております。

教材・配送物	消防設備士 甲種4類	消防設備士 乙種4類
受験対策スタートアップガイド	○	○
ラクラクわかる！4類消防設備士 集中ゼミ(改訂2版)	○	○
4類消防設備士 製図試験の完全対策(改訂2版)	○	
合格ガイドブック	○	○
映像教材(Webコースはログイン情報/DVDコースはDVD)	○	○

#### 【消防設備士 甲種4類】



#### 【消防設備士 乙種4類】



# お申込み方法と流れ

## インターネットからのお申込み

\*FAX (0120-755-529) からもお申込みを受付けております。

CIC ホームページ内の申込フォームよりお申し込みください。

日本建設情報センター

検索

<https://www.cic-ct.co.jp>

\*クレジットカード等各種お支払いが可能です。



## お申込みの流れ

### 申込確認

弊社より確認メール(自動)をお送りいたしますので、内容をご確認ください。

### 請求書発行 / ご入金

ご請求書(メール添付)をご確認の上、請求期日までにお支払いください。  
\*クレジットカード決済の方はご注文と同時にご入金が完了します。

### 教材到着 / 学習開始

ご入金を確認後、領収書(メール添付)を発行いたします。その後、教材の準備が出来次第発送させていただきます。

## CIC 資格対策講座一覧



### 施工管理技士

建築施工管理技士

土木施工管理技士

電気工事施工管理技士

管工事施工管理技士

電気通信工事施工管理技士



### 安全衛生教育

テールゲートリフター特別教育

フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

建築物石綿含有建材調査者講習

保護具着用管理責任者教育講習

化学物質管理者講習

酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育

足場の組立て等の業務に係る特別教育

粉じん作業従事者特別教育

石綿取扱作業従事者特別教育

ダイオキシン類作業従事者特別教育

足場の組立て等作業主任者能力向上教育

自由研削といしの取替え等の業務に係る特別教育



### 設備関連資格

給水装置工事主任技術者

ビル管理士(建築物環境衛生管理技術者)

電験三種(第三種電気主任技術者)

電気工事士(第一種・第二種)

危険物取扱者(乙種・甲種)

消防設備士4類(乙種・甲種)

第三種冷凍機械責任者

二級ボイラー技士



### 建設関連資格・職場衛生関連資格

工事担任者(総合通信・第二級デジタル通信)

コンクリート技士

技術士第一次試験(基礎科目・適性科目)

衛生管理者(第一種・第二種)

## お問い合わせ

## CIC 日本建設情報センター

株式会社日本建設情報センター

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-24-10 ハリファックス御成門ビル 6F

受付時間：平日 9:00~18:00 TEL：0120-129-209

<https://www.cic-ct.co.jp>

## 社員研修好評受付中!

貴社で資格取得対策講座を開講できます。

少人数からも開催可能です! ぜひお気軽にお問い合わせください。